

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)大和計画	階数	地上14F
建設地	神奈川県大和市天和東一丁目1080番2の一部、1080番5の一部	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	485人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年8月 予定	評価の実施日	2022年5月27日
敷地面積	2,195㎡	作成者	三井住友建設株式会社横浜支店一級建築士事務所
建築面積	987㎡	確認日	2022年5月28日
延床面積	9,798㎡	確認者	三井住友建設株式会社横浜支店一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.7

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B+: ★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

① 参照値 ② 建築物の取組み ③ 上記+②以外の ④ 上記+

46 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.5

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合	住棟は街並みに調和する色調とし、敷地内には任意の歩道状空地、自主管理公園を設置することで地域、商店街に開けた計画とした。	その他 0
Q1 室内環境	特定建材はホルムアルデヒド放散等級F☆☆☆を使用。	Q3 室外環境(敷地内) 任意の歩道状空地、自主管理公園を設置。
LR1 エネルギー	温熱環境に関して日本住宅性能表示基準5.1断熱性能等級4を計画。	LR3 敷地外環境 住戸用駐輪スペースとは別に店舗用駐輪スペースを設けることで商店街周辺の交通負荷抑制に配慮。
Q2 サービス性能	住棟は日本住宅性能表示基準3.1劣化対策等級3を取得。	
LR2 資源・マテリアル	・リサイクル促進対策として、住戸は二重天井とすることで、配管や配線が躯体や仕上材と錯綜しないようにしている。 ・仕上げに関しては、躯体+軽鉄+仕上材とし、分別が容易にできるものとしている。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される